

平成27年8月 第12回教育委員会 議事録

開催日時 平成27年8月24日(月)
午後1時33分～午後5時10分
開催場所 南部町役場天萬庁舎 2F 会議室
出席委員 佐藤委員長・細田委員・森岡委員・井上委員・永江教育長
説明員 板持教育次長、清水総務・学校教育課長
書記 加藤
欠席委員 なし

	【開会 午後1時33分】
	【1. 互礼・開会】
	【2. あいさつ】
委員長	開会挨拶
	【3. 会期の決定】
委員長	会期を午後5時00分までとする。
	【4. 非公開案件の決定】
委員長	非公開案件の決定
	8. 報告Ⅱ
	【5. 報告Ⅰ】
教育長	①月例報告
	行事日程表、当日配布資料の説明
次長	②事務局関係
	○各種大会の結果について
	別添資料P1～6、当日配布資料P3の説明
委員長	夏休み中、子どもたちがすごく頑張っている。水泳の入賞は南部町が埋め尽くしている。
	吹奏楽部は、部門によって分かれている。南中はB部門で県大会でおわり。
	法中は、久々に大規模校のA部門に挑戦し金に近い銀をとった。
教育長	南中と法中が合同チームになれば、全国につながるのでは？
	その方が、子どもたちにとって張り合いがあるのでは？
委員長	高校は合同チームもあるし、子どもたちにとっても良いと思う。
	大会主催者側がどう考えるか。
委員	水泳大会の結果を見ると、入賞が多い。指導は一貫して行っているのか？
課長	主に放課後練習で、力量に合わせたコースに分け、メニューに沿って
	教員みんなで指導をしている。

委員	指導がうまくいけばすごく伸びる。教えるからには先生方にある程度勉強をしてほしい。
課長	放課後水泳は、水泳が苦手な子に向けての指導も行っている。
委員	毎日でなくても、スポnetに指導にきてもらってはどうか？
	相乗効果が生まれてしあわせを利用する子が増えるのではないか。
委員	プール教室に通っていて、それが基礎になっている子が多い。
	保育園では、スポnetから指導に来てもらっている園もある。
教育長	専門家をどう学校が上手に使うか。水泳は指導法が大きく左右する。
	教員も専門家の指導法を学べば、普段も生かすことができる。
委員長	CSをつかっても良い。
教育長	小体連で、今年から各種目ごとに優勝カップを渡すようにした。
	4町村で各1カップずつ購入。励みになる。
	○今後の主な日程について
	・11月3日 教育の日
	・10月26日 教育を語る会
教育長	教育を語る会は、主に県教委事務局職員が出席するので具体的な施策の話になると思う。
	代表で委員長に出席していただければと考えている。
委員	代表で出席させてもらう。
	・9月5日 中学校体育祭
	・教育委員研修について
	参考：別添資料(知夫里島学び舎構想)
教育長	島の村の教育はより厳しい。その中でどのような教育をしているのか学ぶべき視点は多い。
	近くにキラリと光る場所があるので、視察へ行きたい。
委員	了解。
教育長	知夫村の教育を見て、意見交換をしようと考えている。
委員長	授業参観をして、校長と懇談をしたい。その後、教育委員との交流。
永江教育長	あちらの教育長と相談をして、充実した研修にしたい。
課長	③総務・学校教育課関係
	○南部町地域協働学校中学校区学校運営委員会会則について
	別添資料P7の説明
委員	第一回目の会はいつ頃に開催されるのか？
課長	9月中で考えている。各校長と事前打ち合わせ会で検討する。
	○学校主事の交代について
	西伯小の学校主事が交代する。
次長	④人権・社会教育課関係
	○わんぱくリーダー塾について
	別添資料P8～9の説明
	例年10名程度の参加だが、今年は小学生22名、中学生8名、計30名の参加。
	高校生ボランティアや町子連の方など、総勢41名で行われた。

委員	参加者が増えて喜ばしい。何か今までと違った仕掛けをしたのか。
次長	担当者の力もあるし、社会教育全般の事業でPRをしたり、町子連等の 育成者へ働きかけを行った。
委員	町子連の意識も変わってきたのか？
次長	積極的になってきた。 また、子どもたちの中の声掛けもあったと思う。
委員	社会教育が明るくて良いと思う。
教育長	担当者の力が大きいと思う。今まで、小・中学校を経験させており、うまく取り込めている。 町村職員が担当になるのではやり方が違う。 教員を上手に使いながら、仕組みが子どもたちに伝わるようにしたい。
委員長	先生の力は大きい。学校にいる時から信頼が大きく、学校を離れてもなお 子どもがついてくる。
	⑤その他
	○高校生サークル「With you 翼」活動報告 7月～8月 当日配布資料P4～5の説明
	【6.専決処分】
	なし
	【7.議事Ⅰ】
次長	議案第33号「平成27年度9月補正予算要求」について 議案P5にて説明
委員長	議案第33号「平成27年度9月補正予算要求」について異議はないか。
委員	異議なし。
委員長	議案第33号「平成27年度9月補正予算」について承認とする。
次長	議案第34号「平成26年度南部町教育行政施策の点検・評価」について 別添資料にて説明
委員	P6の「成長と学びのファイル」の配布対象者は？
次長	健康福祉課が中心になって作成し、未就学児を対象に配布している。 次回、現物を持ってくる。
委員	親が意識して見ないと意味がない。
委員	仕掛けを色々していてすごいが、その後の検証が大切。
委員	土曜開校の成果があがっていないとあるが、すぐに成果が出るわけがない。 気長に待ってほしい。
委員	P9の委員会の意見に、得ようとする側に十分な余裕がなかったとあるがどういう意味か。
次長	受け取る側の問題。行政は整理をして流してほしいということ。
委員	各家庭で選んでいかないといけない。
委員長	仕事をしているし、なかなか全部は参加できない。
教育長	事業は選択するくらい作らないといけない。 子育て世代がそれどころでなく、生活に困窮しているので、選んでくださいというだけでは

	ダメということが言いたい。生活困窮者の問題にも繋がってくる。
委員	保育の充実とあるが、学校訪問をしていて、月1で校長園長会をしているのでぜひ園訪問してほしい。研究をするより効果的だと思う。
委員	園に行ったら邪魔ではないかと心配。
委員	工夫をしたら大丈夫。連携を進めていくためには大切。
委員	必要だと思う。保小連携での研究テーマの話を聞いたことがあるが、上の言いたいことが保育士にきちんと伝わっていないように思った。
委員	研究から成果がでるのは時間がかかる。外部から意見を言ってもらうことも大切。みんなで育てるという気持ちに切り替えてほしい。
委員	幼い時からの保育がつながっていると思うので大切。
教育長	保小連携を進めることにつながる。
	一方で、保育とは何か問われた時にちゃんと答えることができない。
	現場の保育を学び、気づくことは意義がある。保育士の励みにもなる。
	ただ、学校と同じようにはなりにくい。
教育長	みんなの気持ちがあうまく伝わるような体制を検討していく。
委員	P19の最後に変化がなかったとあるが。
教育長	反省をしないといけない部分はある。課題があるので取り組まないといけない。変化がないというのは、職員の課題の書き方にも問題があると思う。
	10年スパンの課題を書くのは楽。
	それぞれの業務の状況などがきちんと分かっていたら具体的になる。
	来年度へ向けての課題など短いスパンでの成果を。
	逆に言えば、評価委員は見えにくい評価を毎年言わないといけない。
	進んでないという意味ではなく、職員が明確な課題をもつことが大切。
委員	人権教育についての、一覧表のようなものがあると良いのでは。
	子ども～大人までの学びとして、町全体の取り組みにして全戸配布をすれば考えやすい。
教育長	人権教育の視点から、おせの背中の延長線上なこと。
委員	「みんなで」という意味合いで。
委員長	おせの背中も、自分がおせだと気付いていない人もいる。
委員	防災無線で流してはどうか。
次長	色々な意見があり、難しい。
委員	学校マニフェストは、振り返りが弱い。
	CSや他の活動についても、振り返りをきちんとして課題等を明確にしてほしい。
教育長	マニフェストを公表したからには、何らかの形で住民の皆様にお返しをしないとイケない。
	方法については、要検討。
	点検評価委員の意見は、各委員の個人的な意見。
	それぞれの施策に生かしていくことが大切。
委員長	議案第34号「平成26年度南部町教育行政施策の点検・評価」について異議はないか。
委員	異議なし。
委員長	議案第34号「平成26年度南部町教育行政施策の点検・評価」について承認とする。

	【9.議事Ⅱ】
	なし
	【10. 協議Ⅰ】
	1) 委員提案(報告)
委員長	中学生殺人事件があったが、犯人は子ども時代にコミュニケーションが 取れない子だったよう。
	南部町にも仕事に就いていない大人が沢山いる。
	そういう社会の中で、何をどのように持っていけばいいのか。
委員	家庭教育が大切。
教育長	不登校児童生徒の問題にも関わってくる。社会人になれば、特にコミュニケーションが必要。 教育では手の届かない問題が多い。学校では責任が持てなく、 行政もSOSを出さないといけない。 社会に出る力をつけないといけない。 学校が本当に良い居場所なのか分からない子が増え、フリースクールなども 盛んになってきている。 義務教育が終了した子どもたちの力を具体化するべき。 社会につながるような様々なルートを提案してあげないといけない。
委員	勉強よりも、人と関わることができる子を育てないといけない。
教育長	事案を議論していく必要がある。 学校がいつまでも握ってはいけない。 高校に送り出したら終わりではなく、もう少し先を見越して町内で考えていくべき。
委員長	高校は各個人として受け止めるので、中学校を卒業するまでに自立できるように どうにかしてあげないといけない。
教育長	小学校の時から助走を始め、早い段階で見抜くことが大切。 誰も責任を取らないシステムになっている。 施策を打ったり、システムを作るのが私たちの仕事。
委員	担当が代わるため、最後まで見届けられない。 SSWを学校に常駐させてはどうか。
教育長	文科でもそのような案は出ている。 ただ、問題を全てその者に投げられたらやられてしまうので、うかつに常駐させられない。
委員長	担当の気づきも大切。気づいた時の対応が問われる。
委員	学校の目標で掲げるような学校経営をしていかないといけない。
教育長	意識改革が必要。高い目標を持つと、早く手を打てる。
委員長	アンテナを立てておかないといけない。
教育長	担当が一番だが、全教職員で見る体制にし、情報共有をする努力を。
	2) 事務局提案
次長	①平成27年度市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)について 別添資料P10～12のとおり

	②その他
	【11. 協議Ⅱ】
	なし
	【12. 今後の主な予定】
	当日配布資料のとおり
	【13. 次回教育委員会開催日について】
	1)9月(第13回)定例教育委員会の開催について
	日時:9月29日(火) 午後3時30分～
	会場: 南部町役場天萬庁舎 2F会議室
	2)10月(第14回)定例教育委員会の開催について
	日時:10月24日(土) 午前9時30分～
	会場: 南部町役場天萬庁舎 2F会議室
	【14. 互礼・閉会】
	午後5時10分